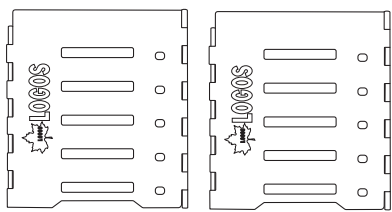


組立て方法と注意

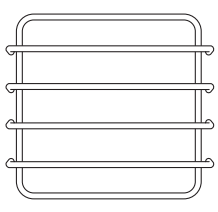
※パーツの形状やパーツの収納位置など、実際とは若干異なる場合があります。※製品の仕様は予告なく変更する場合があります。※取扱い説明書に掲載の製品に関するアフターケアは、日本国内のみの対応となります。

●組立て方法と注意をよく読み、下記の番号順に正しく組立てて使用してください。組立てが不完全ですと使用中のケガや、転倒等事故につながる恐れがあります。撤収は必ず逆順で行ってください。

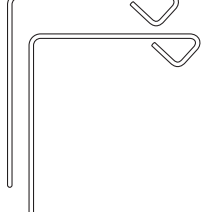
セット内容



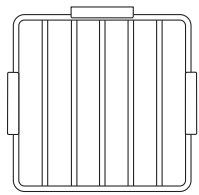
■本体サイドパネル……………2枚



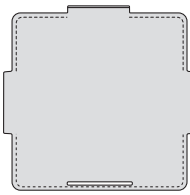
■ゴトク……………1台



■L字ワイヤーハンドル…2本



■ロストル……………1台

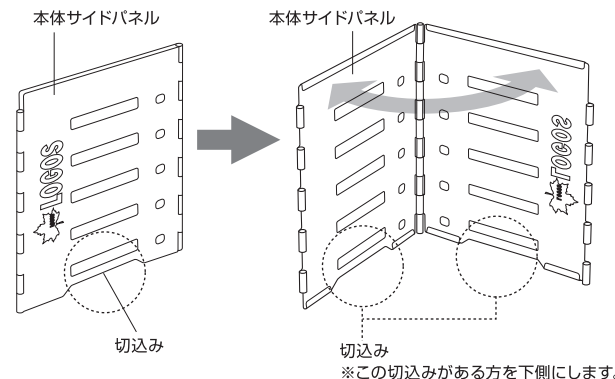


■灰受けプレート…1枚



■収納ポーチ……………1個

① 本体サイドパネル1枚を切込み側が下側に（ロゴのメイプルマークが下側に）なるように立てて、自立できる角度に開いてください。

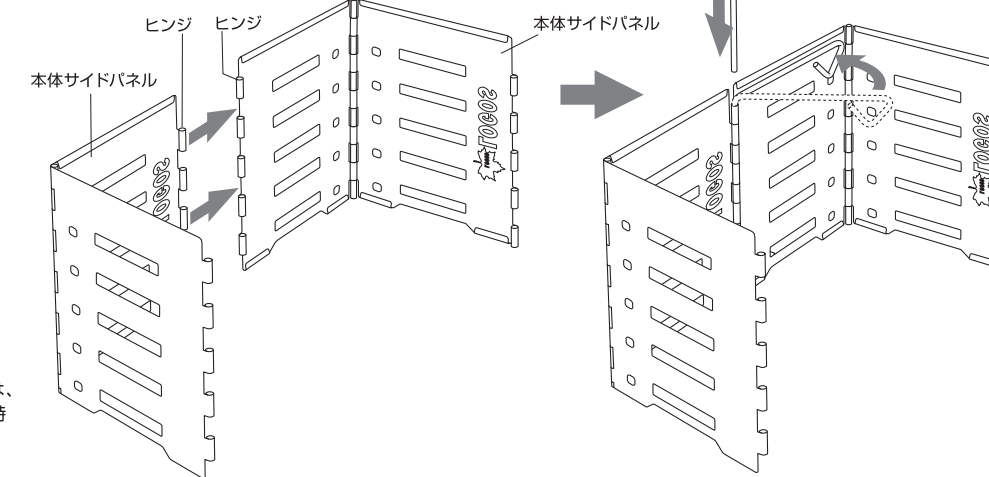


●器具には、鋭利な箇所があります。組立て・着火・消火・手入れ等には、ケガ等を防ぐため必ず革手袋を着用してください。また、器具の洗浄時にはゴム手袋を着用してください。

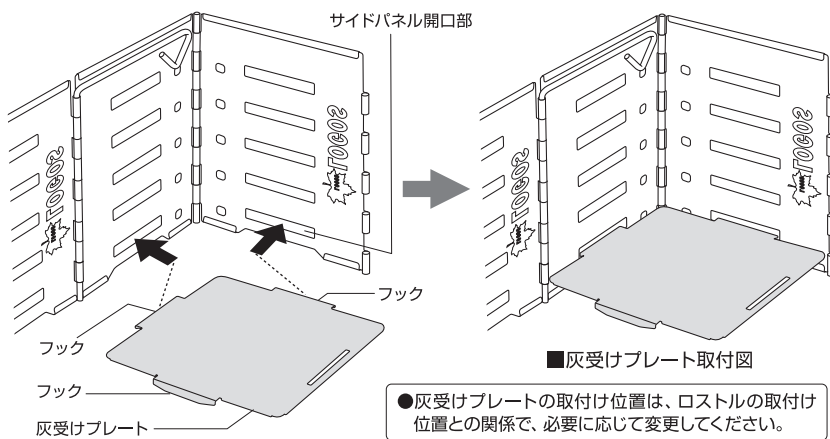


手袋着用

② もう1枚の本体サイドパネルを開き、ヒンジ部同士を合わせ、L字ワイヤーハンドルを差し込んでヒンジを連結してください。ハンドルは図に示すように、回転させパネル内面側に密着させてください。

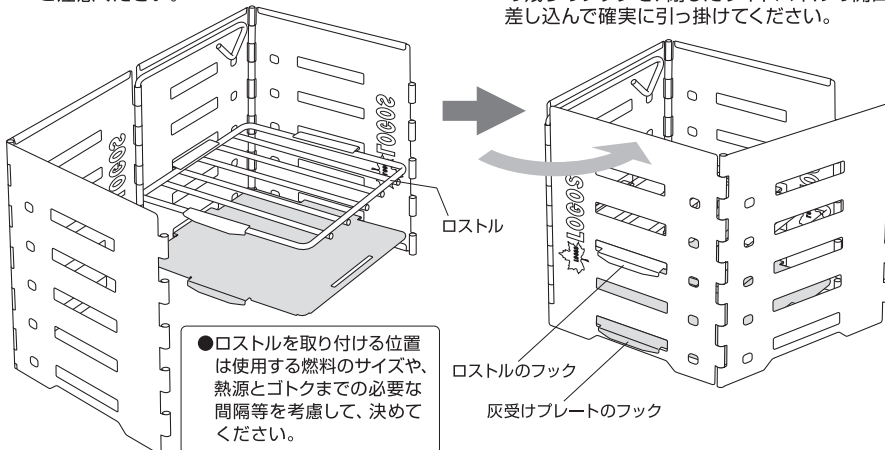


③ 灰受けプレートを取付けます。下図の要領で、プレートのフックをサイドパネルの最下段開口部2カ所に差し込んで引っ掛けてください。プレートの裏表にご確認ください。



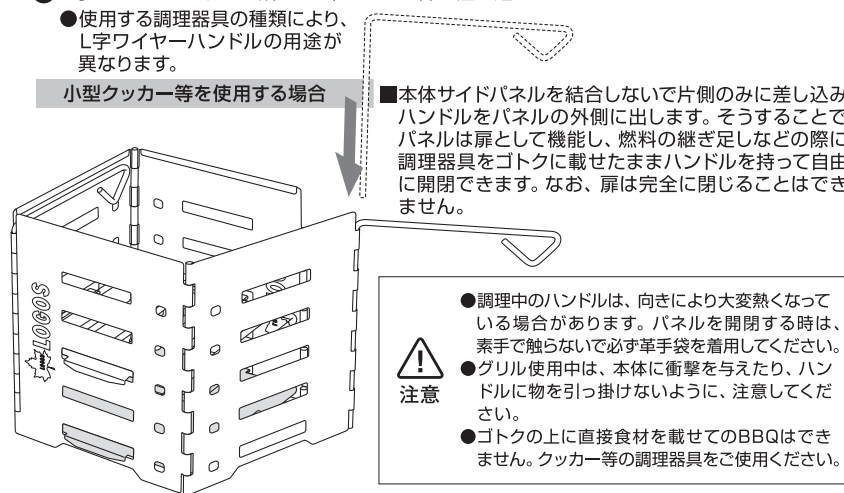
●灰受けプレートの取付け位置は、ロストルの取付け位置との関係で、必要に応じて変更してください。

④ ロストルを取付けます。③と同じ要領で、下図のように取り付けてください。ロストルの裏表にご確認ください。



●ロストルを取り付ける位置は使用する燃料のサイズや、熱源とゴトクまでの必要な間隔等を考慮して、決めてください。

⑤ 灰受けプレート・ロストルを取り付けていない側の本体サイドパネルを閉じ、灰受けプレート・ロストルの残りのフックを、閉じたサイドパネルの開口部に差し込んで確実に引っ掛けてください。



●本体サイドパネルを結合しないで片側だけに差し込み、ハンドルをパネルの外側に出示します。そうすることでパネルは扉として機能し、燃料の継ぎ足しなどの際に、調理器具をゴトクに載せたままハンドルを持って自由に開閉できます。なお、扉は完全に閉じることはできません。

●調理中のハンドルは、向きにより大変熱くなっている場合があります。パネルを開閉する時は、素手で触らないで必ず革手袋を着用してください。
●グリル使用中は、本体に衝撃を与えたり、ハンドルに物を引っ掛けないように、注意してください。
●ゴトクの上に直接食材を載せてのBBQはできません。クッカー等の調理器具をご使用ください。



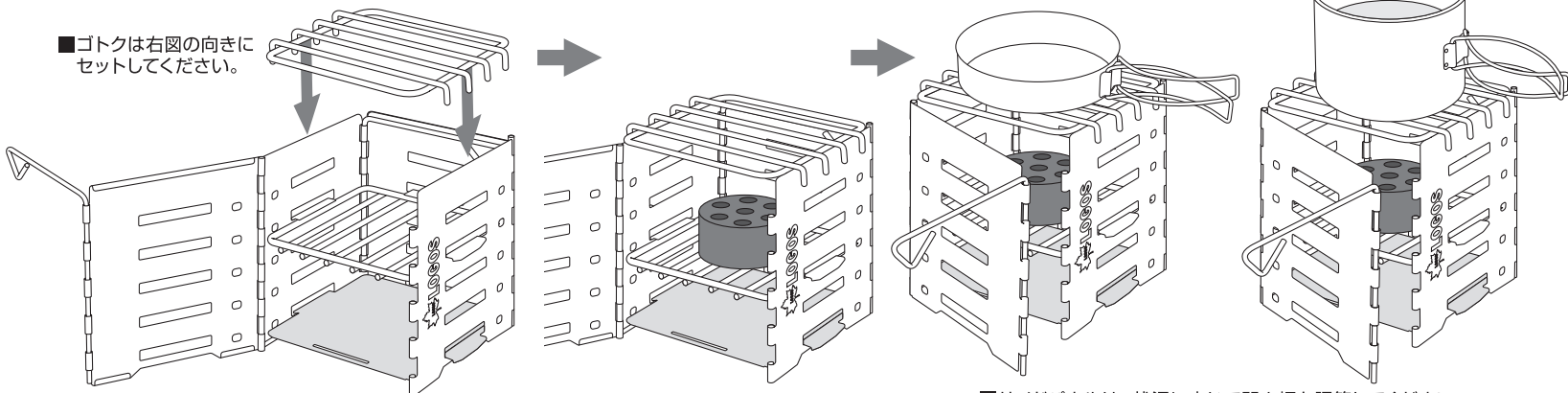
注意

小型クッカー等を使用する場合

●パネルを開いた状態でゴトクをセット

●燃料（別売り）を置いて着火

●小型クッカー（別売り）の使用例



■サイドパネルは、状況に応じて開き幅を調節してください。

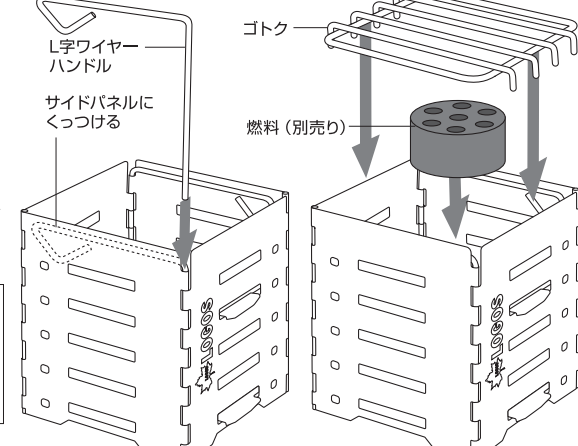
重量のある鍋（8インチダッチオーブン）等を使用する場合

●重量のある鍋（8インチダッチオーブン）等を使用する場合は、強度の確保や安定度を得るために、本体サイドパネルを結合させてL字ワイヤーハンドルを差し込みます。ハンドルはグリルの内側に格納して、パネルに密着させてください。この場合、サイドパネルの開閉はできません。
●次にロストル上に燃料を置いて着火します。着火を確認後ゴトクをセットしてダッチオーブンをゴトクの中心にゆっくりと載せてください。

●着火の確認の際は、グリルの真上から覗き込まないで、少し離れた位置から行ってください。木炭などの燃料は、爆ぜる場合がありますから必ず守ってください。



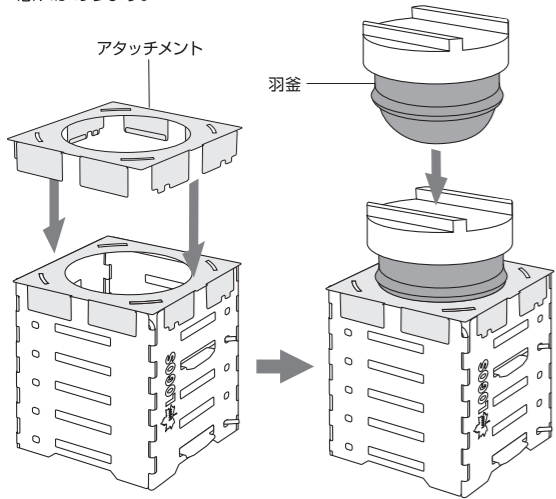
注意



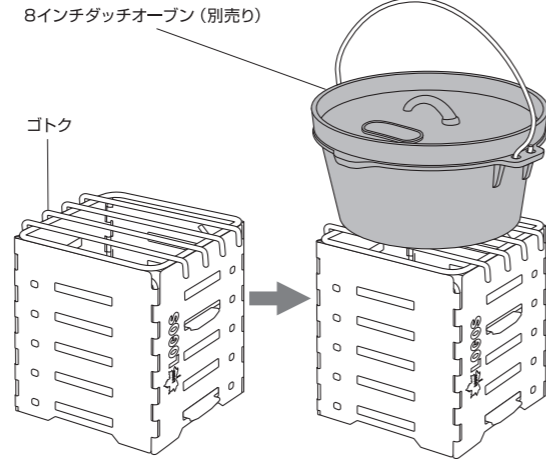
ひとり羽釜土鍋（別売）を使用する場合

■必ず「ひとり羽釜土鍋（別売）」に付属のアタッチメントを装着後、土鍋をセットしてください。

※アタッチメントを使用しないと、土鍋の木蓋が加熱されて引火する恐れがあります。



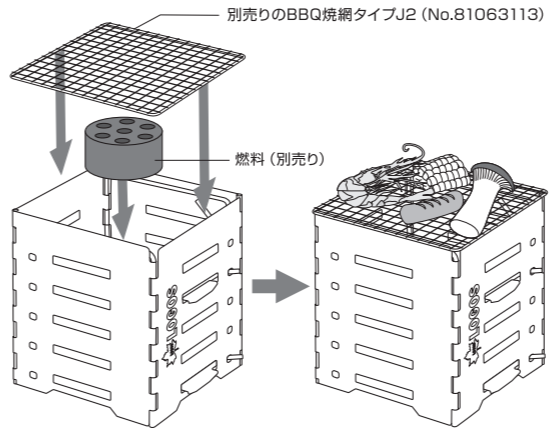
重量のある鍋（8インチダッチオープン）等を使用する場合



※別売品のお求めは、グリルご購入の店頭か弊社コンシューマ係にお問い合わせください。※別売品は、予告なく販売を終了する場合があります。

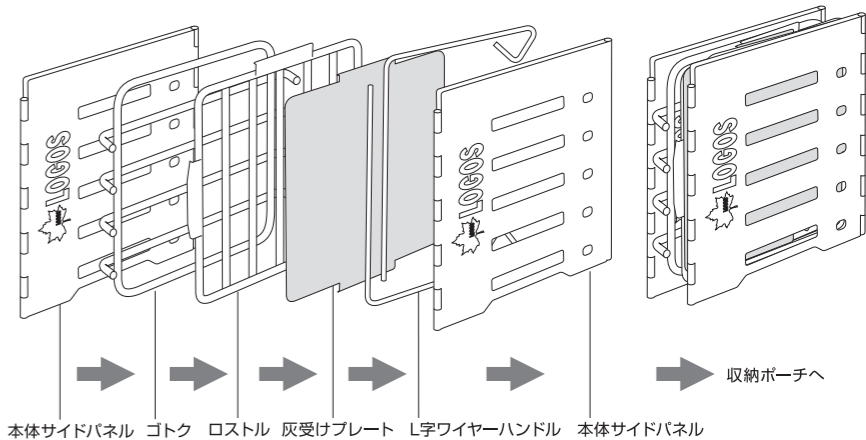
別売りのBBQ焼網タイプJ2（No.81063113）を使用する場合

●重量のある鍋（8インチダッチオープン）等を使用する場合と同じ工程で操作し、最後に焼網をセットします。



収納方法

■ポーチにコンパクトに収納する際の重ね合わせる順序です。

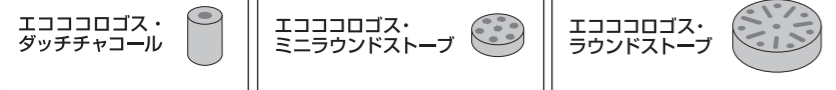


□自然環境を守るために使用のあとは、燃料は完全に消火し持ち帰りましょう。用具も安全を確かめて、生ゴミ・空き缶・紙コップなどとともにきちんと各自で持ち帰りましょう。
※使用後の廃棄物は、各市町村の処理区分に従って処理してください。

■LOGOS エコココシリーズ（ヤシガラ炭）をおすすめします。（別売）

推奨燃料「エコココログス」は環境にやさしく、燃焼効率の良い、森林を伐採しない環境配慮型のヤシガラ成型炭です。着火剤は不要、ライターで直接着火が可能。数分でBBQがスタートできます。

※LOGOSエコココシリーズのお求めは、グリルご購入の店頭か弊社コンシューマ係にお問い合わせください。



※LOGOSエコココシリーズは予告なく販売を終了する場合があります。

□燃料のセット方法と着火について

●焼網は、使用前によく洗浄してください。また、燃料の取扱い・使用中の器具の取扱いの際には、必ず耐熱性の高いグローブを着用してください。

1. LOGOSエコココシリーズの製品パッケージに記載の取扱い説明欄をよく読んでください。
2. ロストル上に「エコココシリーズ」を置きます。
3. 焼網をセットした際、燃料に接触しないか、確認してください。
4. エコココシリーズの各製品パッケージ取扱い説明書に従って着火してください。
5. 数分で着火が完了し、BBQが開始できます。

■木炭を使用する場合

1. 固形着火剤に先に点火し、点火確認後その上に空気の通り道を作りながら炭を積み上げます。（ジェル状着火剤は、設置面にこぼれ落ちる恐れがあるので使用しないでください。）
2. 全ての炭の着火状態を確認した後、ロストル上に均一に広げます。ところどころ炭が二重になる位が適量です。
3. 備長炭の着火は、着火状態の木炭の上に置いて着火してください。いきなり備長炭では着火しません。また、備長炭は着火時に爆ぜますから注意してください。必ず焼網でカバーしながら着火し、覗き込まないで離れたところで見守ってください。

- 木炭の入れ過ぎには注意してください。火力が強すぎて器具のひどい変形・変色につながります。また、粗悪な木炭はうまく焼けない場合があります。
- 使用前に、購入の木炭パッケージに記載の取扱い説明書を必ずよく読んでください。

使用上の注意 ●事故やケガ、器具の損傷を防ぐため、下記の事項を必ず守ってください。（製品には鋭利な部分があります。設置・着火・手入れの際は必ず革手袋を着用。洗浄時はゴム手袋を着用し、ケガをしないよう注意してください。）

以下の事項は不注意による取扱いなどによって、器具の転倒等による火災やヤケド等のケガ・器具の破損等、重大事故に繋がる恐れがあるため、絶対に厳守してください。

- 組立て・使用前の点検で器具の破損、溶接外れ等を発見した場合は、組立て・使用を継続しないでください。
- 着火後にグリルの移動をしないでください。また、使用中のグリルや調理器具に素手で触らないでください。
- 傾斜地や凹凸のある場所等、不安定な場所に設置しないでください。
- 屋内（室内・ベランダ・ガレージ内・テント内・タープの下等）での使用は絶対にしないでください。
- 周囲に可燃物がある場所では使用しないでください。
- 風の強い日や雨天時には使用しないでください。
- ジェル状着火剤は、設置面にこぼれ落ちる恐れがあるので使用しないでください。

- 調理、燃料の継ぎ足し時等、取扱いの際は必ず革手袋を着用し、火床に誤って触れないよう注意してください。
- 使用中、グリルに引っ掛けたり、物が倒れたりしないよう十分警戒してください。鍋や調理器具・ケトルなどを置く場合は特に注意してください。
- 風防を使つての調理中は、ハンドルや器具本体に物や手が引っ掛からないように警戒してください。

- 燃料に着火後は、炭が爆ぜたり火の粉が飛び場合があります。グリルに顔などを近づけたり、真上から覗き込んだりしないでください。
- 燃料や着火剤にガソリン・灯油・ガス・アルコール等は、絶対に使用しないでください。
- 調理器具は、鍋底の直径約17cmを超えるものや、重量（食材込み）約4kgを超えるものは、使用しないでください。また、安定感を欠く形状や高さのものを使用しないでください。
- 燃焼中に素手で器具に触らないでください。
- 子供に取扱いをさせないでください。
- 使用中に子供やペットを器具の周囲で遊ばせないでください。

- 熱により本体・灰受けプレート・ロストルは変形します。また、燃料の入れ過ぎはひどい変形・変色に繋がりますので必要以上に入れないでください。
- 消火の際、器具に水をかけないでください。急激な温度変化で器具の変形や、高温の水蒸気が発生して大変危険です。

- 使用の際は、必ず通気性のよい屋外に設置してください。
- 本製品には鋭利な部分があります。設置・着火・手入れの際は必ず革手袋を着用してください。また、洗浄時にはゴム手袋を着用し、ケガをしないよう注意してください。
- 必ず、周囲の安全を確保し、スペースを十分取り、ぐらつきのない、平らで安定した場所に設置して使用してください。
- 本製品は火床から灰や炭がこぼれ落ちる可能性があります。耐熱テーブル以外のテーブルや芝生、ウッドデッキなど焦げて困るような場所では使用しないでください。
- 熱により本体・灰受けプレート・ロストルは変形しますが、使用には問題ありません。
- ゴトクに大きなものを載せると不安定になります。必ず、安定するサイズ・重量のものを載せるようにしてください。また、安定していることを確認してから使用してください。
- ゴトクに調理器具などを載せる際は、ゴトクの中心に調理器具の中心が来るように置いてください。中心をずれると、不安定になり、落下する恐れがあります。
- L字ワイヤーハンドルの差し込みは、必ず本体が冷え、手に持てる状態になってから行ってください。ヤケドする恐れがあります。
- 燃料の入れ過ぎには注意してください。
- 使用後の器具は洗浄し、よく乾燥させてください。また、ゴトクや焼網は、食品のカスを取り除き洗浄した後、十分乾燥後、食用油を塗ってください。ポーチに収納後は、高温・多湿になる場所を避け、風通しの良い冷暗所に保管してください。
- 使用後の残り火の始末は燃料が完全に燃え尽き、器具が冷えたことを確認後に行ってください。
- 消火後の炭や灰は、各市町村の処理区分に従って処理してください。

■誤った取扱いや使用状況、保守管理及び点検の不備などによる破損、損害、事故、経年変化などによる損傷・劣化・サビや腐食の発生につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

●製品の特性上、あるいは使用場所、環境により製品強度が著しく劣化する場合があります。製品を1年以上放置した場合は、必ず使用前に破損のないことをご確認のうえ、ご使用ください。また、購入後2年以上経過された場合は製品の安全を保証いたしかねますのでご了承ください。